



思いつくまま

金井 玲子

今年でぶどうのいえも 26 周年を迎えます。目をつぶるといろいろな方のお顔が浮かんでできます。創立の時の多勢の聖テモテ教会の方、ボランティアさん、滞在して下さる子どもさんご家族、訪問した企業の方々、病院の先生、看護師さん... そのお一人お一人の方々とのお交わりが私を支えて下さっていたので、今まで参加させて頂けたのだと思います。そうなのです。人と人との出会いが大事だとつくづく思います。そして、その中で教えて頂いてこと、学ばせて頂いたことの何と多いことか、ただ感謝のみです。

ここ 10 年の間の医学の進歩はすごいもので、それに合わせるようにこちらの体制も変化させなければ「第 2 のわが家」になりません。そのために、特に第一線で働かれている先生、看護師さんにお話を伺うのは大きな大事な役割だと思っています。

そして、思い出すのは何と言っても初めの頃の先生、看護師さん訪問です。一人一人の先生方とアポイントをとって直接お目にかかりに行きました。今、なつかしく思い出すのは、東大病院の別所先生（堀内紀子さんにご一緒だったと思う）。東大病院は別館が建築中で、その年に定年退職なさったので、本館の暗い廊下の途中にある小児科でお目にかかったのを思い出します。だから、新館を訪問した時、その明るさと廊下の広さにびっくり！！

また、ぶどうのいえから歩いて 10 分走って 5 分の所に最もご近所の日本医大の前田美穂先生には難病（原因が分からず、従って治療法が確定していない病い）とされる病気も医術が進むことによって細分化され、病名としては増えているというお話を、また、東京医科歯科の荒木先生からは公立ゆえの大変さを伺えました。

これからもいろいろ勉強しなければならないことが沢山あると思うけれど、ミーハーの私も頭をつっこんでいけたらと思っています。

（ぶどうのいえ前副理事長・顧問）



皆さんへのエール

金井 務

皆さんに申し上げたいことは、「問題があることを知る」ということに加えて、それを解決するために「自分も参加する」ということが如何に大切かということです。（中略）真の「知」は本質的に「実行」を伴わなければならないものであると思います。

自分の大切な時間を実際に使ってボランティア活動に参加することは素晴らしいことであり、且つ皆さんの知識が真の「知」となり、皆さんを成長させるのだと思います。

（元ぶどうのいえ後援会会長）

1997年8月「ぶどうのいえだより」より抜粋

「コロナ禍」を越えて「再開」へ

大隈 廣

ぶどうのいえは新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、昨年3月以降「休業」していましたが、決して「閉鎖」していたわけではなく、事務局を中心に施設管理や事務・会計、通信等の業務を中心に稼働していました。2階にある共用部分の清掃とともに、各居室の清掃も専門業者を定期的に入れて、施設全体の清掃を継続してきました。

当然のことながら、この休業期間中の滞在費収入は全く途絶えてしまっていたが、政府からの「持続化給付金」(200万円)の給付を受けることができ、2020年度の運営維持のために、大切にに使わせていただきました。

また、幸いにも法人・個人の寄付金は絶えることなくいただくことができました。改めて、皆様からの温かいご支援に感謝しております。(詳細はP.4に記載)

引き続き、「難病とたたかう子どもと家族のための滞在施設」へのご理解とご支援に支えられています。

こうした皆様から温かいご支援を受け、また全国の「滞在施設を必要とする方々」のご要望にお応えしていくために、私達も再開を果たして行きたいと努力してきました。幸い、コロナワクチン接種の実績拡大の効果も顕著で、新規感染者の発生状況も9月中旬を境に減少傾向が顕著となっています、並行して医療の逼迫度も落ち着きを見せ、9月30日をもって4回に亘った東京都の「緊急事態宣言」もようやく終了しました。その後も現在に至る間、我が国における「コロナ禍」は、新規感染者の発生が1日50人以下となり、医療逼迫度も鎮静して小康の状況にあります。

そこで、ぶどうのいえの理事会としても、この「年度内の再開」実現を果たしていくべきであると判断しました。経過は以下のとおりです。

- ・ 9月25日(土) 第118回理事会 及び常任理事会
「今年度内の再開」を承認
- ・ 10月8日(金)、10月22日(金) ボランティア会
細部に亘っての話し合い 11月16日(土)の再開を了承
- ・ 10月30日(土) 臨時理事会 及びその前後の常任理事会
正式に11月16日(土)の再開を決定

もとより、医事専門家のご意見としても、第6次の感染拡大の発生が予想され、そのための対処策がさらに必要であるとの学術的な警鐘も鳴らされています。ぶどうのいえとしても、引き続き、「安心・安全な滞在施設」、「第二の我が家」を目指して、皆で奮闘して行きたいと決心しています。

この活動をご理解いただく法人・個人の支援者の皆さまのご支援があってこそ、ぶどうのいえの再開が叶うものと思います。

今後とも、よろしく願いいたします。

(ぶどうのいえ理事長)

「コロナ禍」を越えるために

ボランティアの皆さんをはじめ関係者が、施設全体の感染予防を徹底して行うことが重要で、それを滞在者の皆さんも良く理解していただき、ご自分とご家族の感染防止に努めていただくことが求められます。再開については、以下の条件で進めて参ります。

「ぶどうのいえ」の再開に当たっての諸条件

- | | |
|-----------|---|
| ・再開期日 | 2021年11月16日(火) |
| ・予約開始 | 同上 |
| ・受付時間 | 午前11時～午後3時 (ボランティアの勤務時間を厳守) |
| ・滞在予定数 | 1室(1家族4名までとし、この場合は2室を用意) |
| ・滞在期間 | 18才までの患児とそのご家族 最長1カ月 大人の患者様のご家族 2週間 |
| ・滞在者の条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナワクチンの2回接種完了者、またはPCR検査の陰性証明書(滞在開始日の3日以内)の提示者 ・これまでにぶどうのいえの滞在歴のある方 ・体調の健全な方(体温37度以下) ・従来の「誓約書」及び「コロナ禍の滞りに当たっての誓約書」の提出 ・「利用に当たってのお願い」の記載項目の順守の約束 |
| ・滞在費のお支払い | 現金でのお支払いは中止「郵便振込み」(青色印字)に統一振込み手数料は滞り者ご負担 |
| ・その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・東京都作成の「新型コロナウイルス感染症 都民向け感染予防ハンドブック」をお渡し ・「コロナ禍」の完全な終息を待たずの再開であるため、部屋数が極小となっている この措置は当面のもので、「コロナ禍」の収束状況により、滞在部屋数の増加や条件の改訂も行われていく予定 |

滞り者の方には、上記の「利用に当たってのお願い」の書面をお渡しし、入室の時の面談の時にご説明します。施設内での「常時マスク着用」、手指の「アルコール清拭」の励行、「ソーシャルディスタンスの確保」等、感染防止に配慮していただくようお願いをします。

報告 1**ご寄付****大隈廣**

- ◇ 日立製作所グループ様からは例年通りのご寄付のご支援をいただきました。
- ◇ 「国際ソロプチミスト東京一弥生様」団体の30周年記念として、感染防止のための衛生機材として、「空気清浄機 6台」をご寄贈いただきました。
- ◇ 「サイバーソリューションズ様」 IT関係の新進企業で、会社をあげて「地域のチャリティーを」として、特に「難病の子供たちへの」活動のためにとして、多額のご寄付金をいただきました。
- ◇ 「立教女学院中学校様」からは、生徒の皆さんやご父兄様からのたくさんの献金をご寄付いただきました。
- ◇ 「社会貢献支援財団様」からは、永年の社会福祉活動を認めていただき、本年11月29日の表彰式で、ぶどうのいえを代表して金井玲子顧問が受賞され、副賞としてご寄付をいただくことになっています。



この他、個人様からのご寄付も例年のようにいただいております、感謝いたします。

報告 2**「危機管理産業展 RISON2021」 参加****堀内紀子**

10月20日に東京ビッグサイトで開かれた展示会・講演会に参加しました。

ぶどうのいえにとって関心のあるテーマは、防災・減災、感染症対策、気象災害対策です。なかでもコロナ禍の中で大災害が起こる、いわゆる「複合災害」についての講演に関心がありました。コンビニの危機管理者によれば、環状道路が緊急車両専用になれば、発生2日目以降は物資がすぐに来ないという状況が発生するそうです。感染予防の在宅避難、備蓄、ハザードマップの確認等、基本的な対策の重要性を改めて感じました。防災用品は多種多様に進歩していて、展示品も短時間では見切れな

いほどでした。滞在施設では、滞在者と勤務中のボランティア全員の安全や食料の確保が必要となります。ぶどうのいえでは、2019年から災害備蓄品の検討を進めていましたが、コロナ禍の休業と感染対策優先となりました。

現在は、消毒薬や衛生用品の在庫管理に目が向いていますが、大災害への備えも忘れてはならないと思いました。



ぶどうのいえ庭の花

一杯の珈琲

一杯100円のコンビニコーヒーから数千円もするホテルコーヒーがある。コーヒーは江戸時代にオランダを通じて日本に持ち込まれた。

津山藩医の宇田川榕菴は、幕末に西洋からもたらされた医学や化学などの翻訳を行い、現在使われている化学の用語、「酸素」、「水素」などの日本語を生み出した日本の化学の祖である。彼がオランダ語の *Koffie* に漢字を当て、「珈琲」を紹介した。当時の津山のコーヒーと同じブレンドが「津山榕菴珈琲」として津山の城西浪漫館で味わえるという。

高級コーヒーであるコピ・ルアック (*Kopi Luwak*) は、ジャコウネコにコーヒーの果実を食べさせ、排泄物の中にある未消化の実を利用したものである。コーヒーの果実をジャコウネコが食べると、腸内の消化酵素の働きや腸内細菌の発酵によって独特の香味が実につき、世界で最も高価なコーヒーとして知られることになった。お値段は一杯、2000円前後から、Rホテルの5500円までである。筆者も100g、4800円の豆を購入して飲んでみた。香りの高いコーヒーだった。

高価なコピ・ルアックに驚いていたら、その上に行く「世界三大珍コーヒー」という一杯7~8000円もする高価なコーヒーもあるという。

タイには、ゾウの糞から出来る世界最高級のコーヒー、ブラック・アイボリー (*Black Ivory*) があるという。1500メートル以上の高地の厳選されたコーヒー豆 (高品質のアラビカ種のコーヒー豆) を米やバナナや塩と一緒に1日に1~2度おやつ感覚でゾウに与える。15~70時間後に消化され糞と一緒に出てくる。糞からコーヒー豆を1つ1つ丁寧に選別する。ゾウの消化酵素でコーヒーの苦味成分であるタンパク質が分解され、果物などの香りがコーヒー豆に移り、苦味がなくなり、チョコレートのようなまろやかな豆の味になるという。ジャコウネコは、雑食性なので死んだ虫や生ごみなどを食べるためにコーヒー豆に負荷を与える可能性があるがゾウは、草食なのでその心配はないという。このコーヒーは、1杯50ドルでタイの他、モルジブにある4軒の *Anantra* ホテルでしか味わうことが出来ない。このコーヒーを試飲した米国のメディアの一人は「その味は心地良く、予想外のもので、チョコレートやナッツ、レッドベリーを味わっているような気分になった。普通のコーヒーの苦味は全くなく、口当たりはとてもまろやかだった」と言っている。

他にもアフリカのコーヒー豆の産地には、サルの糞から取れる「モンキーコーヒー」、ペルーのハナグマコーヒーや糞からではなく台湾のサルが口から吐き出す「モンキーコーヒー」などもあるという。

余談になるが、最近、筆者をはじめ高齢者が多くなり、高齢者の認知症も多く、社会問題になっている。慶応大学薬学部教授の田村悦臣氏は、高齢化すると脳にアミロイドβタンパク質が溜まるので、神経細胞が変性し、特に記憶や学習の障害を引き起こす。この物質を減らすためにコーヒーのある成分が役立つのではないかと考えた。コーヒー豆を焙煎する際に

クロロゲン酸が分解し、ピロカテコールを生成し、この化合物が有効成分であると実験から判った。そのため毎日、3杯程度のコーヒーを飲用すると認知症の予防に役立つと提案している。



堀内 昭 (前理事長・顧問)

★ ありがとうございます

会費・ご寄付の方々

(順不同・敬称略)

福井和彦 神谷まり 宮川ユリ子 立教女学院キリスト教センター 大隈廣 かあかのおうち・吉永道子 柴和子 森村学園福祉 OG 会・三浦優子 河合和子 五十嵐明子 鈴木紀郎 三本松由利子 戸倉淳 土井基子 日枝加寿子 東弘彦 金井玲子 与良啓子 尾崎伊佐子 大滝豊 石渡康弘 大森明彦 日本聖公会東京教区 吉田雅枝 菅原仁美 イマイノリヒロ 吉岡はるみ 菊地純子 日本聖公会東京教区(7教会) 近澤淑子 大隈廣 大隈敬子 大畑喜道 高橋幸 宮尾春世 立教女学院中等部 国際ソロプチミスト東京・弥生 永野訓男・つね サイバーソリューションズ株式会社 大瀧留理子 土屋賢一 倉敷信 坂本三恵子 イエローシートキャンペーン 荒川温子 荒川雄行 荒川こずゑ 荒木悦子 岩竹節子 上松恵子 鵜飼良機 鵜飼久美子 内ヶ崎儀一郎 内ヶ崎昌子 梅田晶子 大隈廣 大畑喜道 岡田順子 岡村ゆき子 匿名 小口淳子 賀来秀文 加藤誠 金井玲子 北原和夫 倉田静江 倉辻明男 小林力 酒井三貴子 椎橋照子 多田美智子 田中宏祖 田中応佳 田中芳子 土屋賢一 仲谷芳久 西田恵子 野辺恭子 早川和子 東弘彦 別所文雄 保坂久代 堀楚乃子 三村信子 宮崎なを 宮崎功 矢代捷 山形寿太郎 渡辺真理子 渡辺洋子 富塚康子 木村義介 横山融 (2021年4月1日～10月31日)

★ ありがとうございます

物品ご寄附

(順不同・敬称略)

花王(株)コーポレート戦略部門社会貢献部(雑貨) 関谷隆一(食品・雑貨) 長内英樹(雑貨)
NATURAL HAIR(雑貨) 奥野貢(食品) (2021年4月1日～11月1日)

お知らせ

認定NPO法人 ぶどうのいえ

第22回運営会員通常総会 開催のお知らせ

2022年3月5日(土) 午後1時より

*運営会員募集 運営会員とはぶどうのいえの運営にかかわって下さる方です。
総会を通してご意見下さる方を募集いたします。年会費3,000円をお支払い
いただきますが、よろしく願い致します。

連絡先: ぶどうのいえ事務局

Tel 03-3818-3362

ご寄付のお願い

いつも「ぶどうのいえ」の活動をお支えいただき有難うございます。
来年度に向けて、振替用紙を同封させていただきました。
どうぞよろしく願いいたします。

認定NPO法人 ぶどうのいえ

ホームページ

<http://www.budounoie.jp/>

E-mail

info@budounoie.jp

郵便振替口座名

特定非営利活動法人ぶどうのいえ

郵便振替口座番号

00120-2-540161